

第2次 新横田基地公害訴訟 原告団ニュース

発行者
第2次新横田基地公害訴訟原告団
〒197-0003 東京都福生市熊川1655-3
白鳥第2ビル302号
TEL/FAX. 042-552-4451
Email : syokotas@vesta.ocn.ne.jp
<http://www.yokota-kougai.com>

9/27現地進行協議(現地検証)大成功

弁護団長 弁護士 関島 保雄



最後の検証場所、拝島第二小学校で弁護士からの説明を聞く原告ら。

9月27日に控訴審裁判所の現地進行協議が行われました。現地進行協議と言っても実質は現場検証で、審理を担当する裁判官に、横田基地の飛行機騒音や、騒音被害を受けている原告ら住民の生活実態と被害状況を直接見て被害を感じ取って貰おうという趣旨で行われたものです。

米軍の航空機が飛来するかどうかは重要なのですが、こればかりは、軍事基地であるため飛行の予測が出来ません。今回は八王子パークヒル宇津木台の高層住宅の屋上で大型のボーイング747型機が南から飛来した為、飛行コースと八王子宇津木台住宅周辺の環境を見て貰い、地上に降りてから宇津木台町会会館へと移動しながら良好な住宅地が横田基地の飛行騒音で被害を受けている状況を裁判官に感じ取って貰えたのではないかと思います。昭島駅前のマンション屋上でも、対潜哨戒機と空中空輸機が南方から基地に着陸しましたので、裁判官には騒音や飛行コースと昭島市の住宅地域との関係がよく理解出来たと思います。午後は瑞穂町のスーパー

オリンピック屋上、国申請の個人宅、瑞穂町のドン・キホーテ屋上、横田基地のサウスゲート、拝島第二小学校と現地を移動しながら騒音を体験して貰おうと予定しましたが、午後になると飛行機が全く飛ばなくなり残念ながら午後は裁判官に騒音を体験していただく機会が殆どありませんでした。特に、ドン・キホーテ屋上は基地の駐機場や滑走路に近く過去の現場検証では飛行機が離着陸し地上を移動する騒音を直接体験することが出来たのですが、今回は残念ながら、それは出来ませんでした。ただ駐機場に25機と様々な航空機が駐機していたので対潜哨戒機、オスプレイ、空中空輸機、ギャラクシー等横田基地に飛来する様々な航空機を見ることは出来ました。

裁判は今回の現地進行協議を終えると11月20日の証人及び原告本人尋問、来年1月31日の結審と決まっております。来年夏前に判決が出るのではないかとという予測です。最後まで気を緩めることなく前進した判決を獲得する為に、原告の皆様の一層の団結をお願いします。

100名が見守る中 8ヶ所で現地検証実施

八王子・パークヒル宇津木台屋上では頭上を飛ぶC-5ギャラクシーとボーイング747の85デシベルを超える騒音を裁判官が体感

昭島駅前ダイアパレスでは対潜哨戒機と空中空輸機が飛来。裁判官には飛行コースと原告居住地域の関係を知ってもらえた



検証現場の西隣りに位置する集合住宅上空を横田基地方向に飛行して行ったC-5ギャラクシー（午前9時24分撮影）



昭島駅南口ロータリー広場でマンション屋上の検証を見守る原告ら。



今回の現地検証は、オスプレイ配備を前にした歴史的に大きな転換期になるものであった。天候も悪く昭島駅前のダイアパレス屋上をはじめ、五か所に参加。普段のような爆音や低周波を轟かせる米軍機はあまり体感できなかった。しかし、裁判長も基地周辺被害者の生活実態を肌で感じ取ってくれたと思う。

【昭島支部 掛谷 昇治】

八王子・日野支部は宇津木台町会会館に集まりました。

裁判官がパークヒル屋上に来た頃に大型機が2機、私たちの真上を轟音で飛んだので、普段は迷惑な音ですがこの時ばかりは裁判官に爆音を聞いてもらえて良かったと思いました。待っている間は、裁判でも上映した飛行DVDを実際のデシベル値に近い迫力ある音量で聞きましたが、この時は周辺の家々に配慮して窓を閉めざるを得ませんでした。

後半の交流会では、特に夜間訓練するオスプレイの恐怖感を訴える方が多くいました。

【八王子・日野支部 比留間 咲江】



サウスゲートからはプロペラをたたんだCV-22オスプレイが確認できた。飛行する様子はない。

オリンピック瑞穂店屋上 今回は飛ばなかったが普段はこんな ものではない!

オリンピック瑞穂店は基地北側飛行コース直下であり、滑走路北端からわずか900mに位置します。大型輸送機の離着陸時、迫りくる迫力はすさまじく、金属のかたまりが浮遊しているのが不思議に思えます。買物客は重厚な騒音と共に必ず見上げてしまうインパクトのある場所です。

裁判官には是非とも体験して頂きたいと思っていましたが飛来はなく、残念な結果でした。原告の方から「飛行していないタイミングで来られて、被害を軽んじて欲しくない」と指摘されましたが、全くその通りだと思います。平日の一家団らんの時間帯に来られ、騒音実態をもっと知ってもらいたいです

【瑞穂支部 岡口 明】



サウスゲートから滑走路方向に向けて徒歩で移動する検証団。

サウスゲートではC130-Jのエンジンテスト音が響き離陸を期待したが飛行せず、裁判官は激甚な騒音を体感できず。



オリンピック瑞穂店屋上で 弁護士の説明を聞き、検証を見守る原告ら。



サウスゲート付近で「飛べ飛べ」と念じながら検証を見守る原告ら。



すべての検証場所で日本音響エンジニアリング(株)による飛行騒音測定が行われた。国側も測定していた。



サウスゲートの検証で飛行したのは、C-12連絡機1機だけだった。

勇気と元気をもらった沖縄県知事選挙



普天間基地・野嵩ゲート前で
アピールに参加した曲山さん
(9月21日撮影)

沖縄県知事選挙は、玉城デニー新知事が、故翁長知事の遺志を継ぎ「辺野古への新基地建設に反対」「普天間基地は即時閉鎖・撤去」を掲げ39万票を超える得票、8万票の大差で勝利しました。

全国基地爆音訴訟原告団連絡会議の要請があり、奥村事務局長と共に9月19日から21日沖縄での行動に参加してきました。

20日は宜野湾市の仲西市長候補の事務所で終日作業しながらの交流、21日は普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団が月曜日から金曜日の毎朝(7時~8時)行っている普天間基地・

野嵩ゲートでの宣伝行動、仲西事務所での作業に参加してきました。

選挙戦で感じたことは、事務所での、市民のみなさんの応援や激励・差し入れなど「故翁長知事の、勝つことは諦めないこと」に象徴される粘り強い闘い、「オール沖縄」での皆さんの奮闘などがあります。

沖縄に学び、第2次新横田基地公害訴訟の勝利「静かな安全な空を取り戻す」運動に取り組む決意です。

【昭島支部 曲山 春男】

10月1日 CV22オスプレイ横田正式配備配備抗議集会~横田防衛事務所へ要請~福生駅で宣伝・署名行動



真夏のような暑さの中、フレンドシップパークで参加者たちは怒りのこぶしを挙げた

福生市のフレンドシップパークで、「オスプレイ横田配備反対連絡会」(構成団体は横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいらない!市民交流集会実行委員会、横田・基地被害をなくす会、第9次横田基地公害訴訟原告団、第2次新横田基地公害訴訟原告団)が抗議集会を開き、180人を超える参加者でした。

集会後は横田防衛事務所へ要請も行いました。

(5ページへ続く)



10月1日 CV-22オスプレイ正式配備の日の第2ゲート前では市民団体によるスタンディングアピールが行われ鉄の扉は閉ざされていた。司令官宛ての要請文を横断歩道の手前で読み上げた。

(4ページからの続き)

横田基地第374空輸航空団司令官に宛てての要請書も用意しましたが、第2ゲートの鉄の扉は堅く閉ざしたまま要請書の受け取りは拒否。翌日に郵便投函しました。

集会後には、福生駅東口で宣伝・署名活動も行いました。



10月1日 福生駅東口での宣伝・署名行動 多数のマスコミが取材した。



9月24日 沖縄の闘いに連帯するさいたまのつどい

事務局長 奥村 博

「第3回沖縄の闘いに連帯するつどい」が9月24日浦和の埼玉会館で行われ、これまで第2次新横田訴訟原告団も連帯のあいさつをさせて

いただいたこともあり、逝去された清水事務局長に代わり私が行いました。

二つの語りがとても印象に残りました。一つは稲嶺前名護市長から寄せられたビデオメッセージで「ウチナンチュ(沖縄人)はずっと、自分

たちが持ってきたわけでもない基地をはさんでいがみ合ってきた。それを上から笑っている人はいないか。政府は笑っている、笑いもせず、見て見ぬふりをしている人もいるのではないか」と翁長さんが遺した言葉をしっかり噛みしめてほしいと言ったことです。

沖縄タイムスの阿部岳さんの、記者の目から見た辺野古・高江の現場報告で、「沖縄問題は本土の問題。本土側の無関心が沖縄の不条理を可能にしている。当事者意識を持つためにも、一度は想像してみしてほしい」と語った二つでした。私たちは米軍基地の存在が沖縄の豊かな発展と平和への阻害になっていることを広め、基地公害をなくす運動をともに進めていかなければなりません。そのことを再確認できた意義ある集会でした。



沖縄の平和を願う歌声

検証大成功の意気込みで傍聴にご参加を

証人尋問・本人尋問を 成功させよう 11月20日(火) 第3回口頭弁論

10時開廷 東京高等裁判所で

昭島、八王子の各
地域から貸し切り
バスを運行。出発
時刻は支部日より
確認を。

11月20日(火) 第3回口頭弁論

(証人尋問・原告本人尋問のスケジュール)

【午前】

10時開廷

10時10分：証人尋問 「横田基地を撤去する西多摩の会」
代表高橋美枝子さんが証人として法廷に立ちます。

10時40分～12時10分：3名の原告本人尋問

【午後】

13時30分～15時00分：3名の原告本人尋問
(10分間の休憩)

15時10分～16時10分：2名の原告本人尋問

昼食休憩場所は日比谷図書館4階小ホール(スタジオプラス)
昼食をとりながら弁護士からの報告・説明をお聞きください。

皆さんとともに奮闘します

第2次新横田基地公害訴訟原告団
新事務局長 奥村 博



控訴審の最中に逝去された清水幸一さんに代わり事務局長という大任を任されることになりました。私は、国が主張している極めて高い公共性を持つ軍事基地のため被害は我慢すべきであり、住むことは自己責任だという論理に与することはできません。原告

本人尋問と山場を迎えますが、皆さんとともに奮闘しますので宜しくお願いします。

団費の納入をお願いします

後期分団費・および今年度までの団費未納の方へ振込用紙を近日中にお送りします。円滑な納入をよろしくお願いいたします。(原告団 事務局より)

原告団活動日誌

- 9/7 原告団ニュース第44号発行、発送作業
- 9/10 定例事務局会議
- 9/12 高裁進行協議
- 9/18 第67回原告団幹事会
- 9/19 弁護団会議に出席
- 9/19～9/21 沖縄県知事選挙支援行動(全国基地連として)
- 9/24 沖縄の闘いに連帯するさいたま集会に参加して連帯挨拶
- 9/27 高裁現地進行協議、終了後弁護団慰労会開催
- 10/1 CVオスプレイ正式配備抗議集会～基地と防衛事務所へ要請行動～福生駅北口にて署名宣伝行動
- 10/5 原告団ニュース編集会議
- 10/9 定例事務局会議
- 10/9 オスプレイ横田配備反対連絡会会議
- 10/15 第68回原告団幹事会
- 10/17 全国基地爆音訴訟原告団連絡会議第5回総会の打合せ会議に出席
- 10/18 東京都環境局要請(オスプレイ配備反対連絡)
- 10/19 弁護団会議に出席